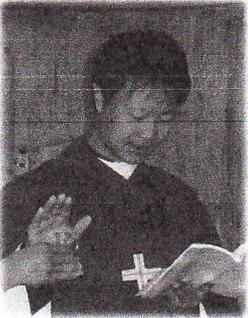


「主は復活されました。アレルヤ」  
京丹ブロック担当司祭 崔 聖煥

わたしたちのまことの光であるイエス・キリスト。皆さんがイエス様の復活の光にいつも照らされますように。今回はエマオへ旅立った二人の弟子たちが復活されたイエス様と出会った話を通して皆さんと分かち合いたいと思います。



し、あまりにも悲しくて、弟子たちの目は閉じられ、イエス様とは

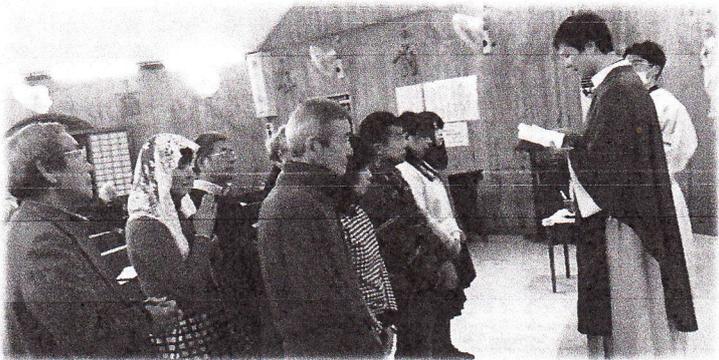
気づきませんでした。イエス様は弟子たちに質問したり、メシアについて聖書に書かれていることを説明したりしました。知恵ある話に驚いた弟子たちは、もつと話を聞くと思い、一緒に食事をするようにイエス様を招きました。食事の間、イエス様はパンをとり、分けて二人に渡しました。すると、弟子たちの目が開き、「イエスだ」と悟ったとたん、イエス様の姿は見えなくなりました。弟子たちは復活の光に照らされて信じました。主は生きています。

「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」皆さんはイエス様の話を聞いたとき、復活の光をいただいたとき、心は燃えていましたか。弟子たちはエルサレムに引きかえして、仲間たちに、そしてすべての人に主は生きておられるのを告げました。わたしたちも一緒に告げましょうか。主は復活されました。アレルヤ。

イエス様が十字架の上で命を捧げながら、もう三日経ったとき、二人の弟子たちはイエス様に希望をかけていました。十字架の死刑によってすべてが終わったと思い、家に帰ることを決めました。途中でエルサレムで起こった出来事について話したところ、イエス様が弟子たちに近づいて一緒に歩き始めました。しかし、あまりにも悲しくて、弟子たちの目は閉じられ、イエス様とは

イエス様がパンを分けてくださったという出来事を見たとき、弟子たちはイエス様の姿を見いだしました。パンを分けること、これは、ミサ祭儀を意味します。昔の弟子たちと同じようにわたしたちは、今あずかっているごミサを通して、生きているイエス様に出会うなら、幸いなことです。

《2月14日 洗礼志願式にて》



どこだろう 何だろう？  
教会のどこかで撮影したスナップ写真です。これが何だかわかりますか？



正解は広報部員まで